



絵本のある場所が すべてSDGsの入り口になりますように

絵本でSDGs推進協会×アトリエペタタ

絵本とアートでSDGs

2021年4月号



「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

14 海の豊かさを守ろう



11 住み続けられるまちづくりを



暮らし×SDGs

レジ袋が有料化になり、買い物に行く時はマイバッグが定着してきました。しかし、まだ生活の中にはプラスチック製の容器などはたくさんあります。どうしたら、必要最低限にすることができるのでしょうか？家で食べる時には、お店からスプーンをもらわないという「断る」という行動も考えてみましょう。

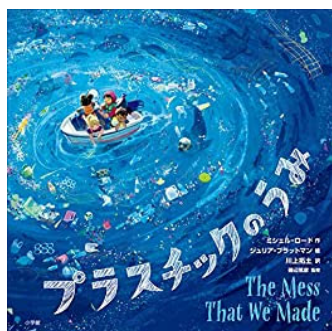
人間の作った物の多くは、どんなに小さくなくても土に戻りません。ごみにしないための再利用法や再利用された製品について知ることから始めましょう。

朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事
学校司書 絵本専門家

SDGsforSchool認定エデュケーター

4月のおすすめ絵



プラスチックのうみ

作：ミシェル・ロード
出版社：小学館

私たちが捨てたプラスチックごみが、どのように海を汚していくのかが分かる絵本です。

4人のこどもたちと一緒に“今海でおきていること”を見ながら現状を知り、そして、どうしていったらよいのかを提案してくれます。また巻末には様々な視点から、海の汚染についての解説も載っていて、こどもだけではなく大人も学び行動するきっかけとなる内容です。翻訳は当時小学校5年生の男の子が担当したそうです。

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



防災×アート



国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受け、先月末コロナ対策を講じた中でミニイベントを開催しました。SDGsのゴールに合わせて選書した絵本の読み聞かせと展示・紹介をおこない、ビーチコーミングした流木を使って、親子でランプシェードを制作しました。



石橋 幸子

NPO法人アトリエPetata理事長
保育士 防災士 絵本専門家

4月のおすすめ絵本



ダンゴウオの海

写真・文：鍵井 靖章
出版社：フレーベル館

東日本大震災の直後。海では、魚たちの姿は消え、人々の多様な生活用品が沈んでいました。痛ましい現実の海中で、ダイバーは、必死にしがみついて生きようとしている小さなダンゴウオを発見しました。その後、3年半かけて撮影された海の底の生き物。その、たくましい姿がこの写真絵本におさめられています。大きな自然の海と生き物、災害と環境。きっと、それぞれのメッセージを読み取ることができるはずです。